阿知須町広報

阿知須町役場発行
山口県吉敷郡
阿知須町
発行人　中尾　岩雄
編集人　土本　源一

印刷所
宇部新聞印刷所
宇部市東区五反田通
電話1725番

祝祭日には各戸もれなく国旗を掲揚いたしましょう

災害復旊資金借入の損失補償

牧ノ江開作町道編入ほか

11月定例町議会

昭和三十年十一月十六日午前九時三十分から開かれた定例町議会は、提出議案五件にわたり慎重な審議がなされ、終始活潑な討議のすえ全議案を原案通り可決と確定したのである。当日の議案中『災害復旧資金借入に対する損失補償について』は、各議員とも郷土振興、町民福祉につき終始慎重審議、ならびに熱心な討議がなされ一たん本議会を閉じたのち引続いて協議会に移り、漁港整備ほか三件につき協議がされた結果、全項を承認可決した。

当日の提出議案は左の通り

◎議案第三十九号
二級国道山口埴生線路面舗装修理工事実施につき工事費に対する地元負担金として　左記金額を山口県知事に採納申込をするものとする。
一、金弐拾四万円也

右議案は阿知須路面の舗修工費三百万円の八分の八を県に採納申込みをして、被損国道の一部（約二三〇米）の路面の舗修を来春早々実施することになつた。

◎議案第三十号
昭和三十年度町歳入歳出追加更正予算の議案について
歳出の部
今次の台風による災害復旧費が主で土木、衛生、漁修、災害緊急救助費等合計三、六四三、四〇〇円を計上、歳入面は主として財産処分代金三、六九四、二五一円其他負担金、衛生費、同補助金、災害救助費負金等でこれをまかなう

◎議案第三十一号
牧ノ江開作道路の町道編入について
毎年の風水害による被害は甚大で農民の手による復旧は至難となつて来たので町道に編入する

◎議案第三十二号
吉敷郡公平委員会委員選任につき同意を求めることについて
大内町大字御堀二、四三六番地
村田　巍雄
前記の者を吉敷郡公平委員に選任したい、よつて町議会の同意を求める。

阿知須町長提出　中尾　岩雄

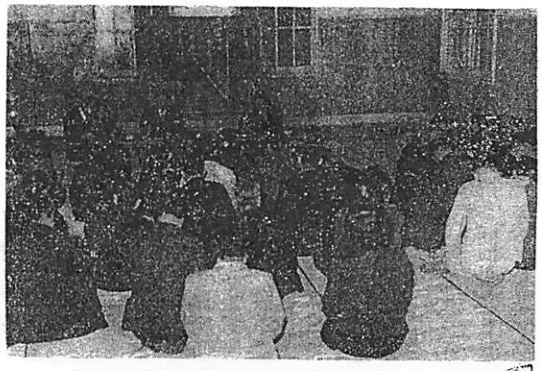
◎議案第三十三号
災害復旧資金借入に対する損失補償について
この件につき田中、工藤、大沢、松崎、岩崎　細貫、大浜、上野各議員により慎重な質疑討論が交わされ、執行部側の解説並に工藤議員の説明により全員納得、竹本議長の可決の宣言に本議会は午前十一時四十分終了

引続き協議会に移り次の一、漁港整備

本町居住の漁業協同組合又は組合員が昭和三十年の台風による漁業災害復旧資付貸付要綱第五条に基く融資機関より借入をした場合　町は第五条中規定された損失補償をなすものとする。

二、牧ノ江海岸堤塘災害復旧
三、公営住宅建築
四、小学校老朽校舎建築
の四件について協議した結果
一、について
現在の段階では全般的な漁港整備は国として出来ないので、局部的の構想において農林省と接渉して　漸次部分的に整備していくことにした。
二、牧ノ江海岸堤塘災害復旧は
全長一、二六〇米に及ぶ堤塘の補強工事は、毎年の災害に鑑み県当局に申請、県費並補助工事に極力進捗すべく執行部に一任して可決された。
三、公営住宅建築について
今回県より割当られた公営住宅二十戸の建築について土地の選定、入居者の資格と条件等審議し、細田地先の埋立地AB地区が好適候補地に選ばれ、入居者の資格条件等も自治委員を通じて一般に通報されるべく執行部に一任されることとなつた。
かくて台風被害の復旧についての対策には　明るい見通しをつけ、午後二時三十分定例議会の幕を閉じた。

写真は小学校体育研究所



写真は農業所得の基準懇談会

待望の念願遂に叶う

第一種漁港の実現なる

昭和三十年度の漁港整備事業の一環として、水面の地域の農林省告示第八六〇号漁港法（昭和二五年法律第百三十七号）第五条第一項の規定に基き、漁港を次のように指定したので、同条第五項の規定により告示する。

昭和卅年十月廿一日
農林大臣　河野一郎

阿知須町と東岐波区との境界地先の防波堤端から六百米の地点を中心として半径六百米の円内の海面　及び井関川　農応機から下流の阿川の地域

この程中尾町長は三号台風の災害復旧対策　及び多年の懸案であつた漁港整備促進の為上京、本省関係当局に陳情援接中のところ、遂に町民の宿願であつた第一種漁港が認可され、大阿知須漁港の恵はこゝに出現したのである。

本町重要産業の一環である水産部門の振興と相俟つて、一拓の完成、海陸交通の拡充等今や阿知須町の面目に、一大飛躍の兆が見えてきたのである。

× × × ×

『社会と共に進む』

＝新時代の婦人生活＝

今年は漁業法が実施されて三十年婦人に参政権が施行されて十年になります。

今日、婦人は家族の一員として或は地域社会や職場の一員として、めざましい発言をしておりますがまだ社会的に地域的に因習から脱け切れないで、家と夫に従属したまゝ自分自身の生活のない人が多いのです。

今からでも今日までの慣習から逸脱して、平素から政治に関心を持つようにしましょう。私達の暮しがよくなるのも、悪くなるのも国や地方の政治がどのように行われているかによって左右される点が多いのです。

選挙の当日だけで後は政治屋まかせといった態度では　いつまでも私達の満足いく政治は行われず、婦人の在り方も一向に向上しませんし私達私達の進んだ人が、私達の期待したような政治をしているかどうかをあらゆる観点から観察しておく必要があります。

それには家と夫に縛られず、家庭を自分自身のものにすることです。糠味噌にも手をいれるが、街路に出かけ、大根もきざむが仮装行列にも参加しよう、そして婦人としての種々の会合部にも進んで出掛けて、明るい楽やかな張＝のある生活をうち建てましょう。

かご松には脇枝を

〃松竹たて〻門ごとに〃とお祝する賑わい昭和三十一年の歳月が近づいてきました。新しい年を迎えて門毎に、眺い盛んな松を立てて今年こそと、一家揃つて家運の隆盛と健康を祈念することは、日本人にとつては　只願信な臭床しい美風（？）となつています。

しかし折角太りつゝある松を根元から切取つたり、心木を伐りとつて門松に利用することは、森林資源の不足が強く叫ばれている現在まことに惜しいことです。

ものゝ生命を断ち切つて、しかもそれが無駄で持帰つたものを飾つてみても、新年を迎えるについて真に意味のあることは思われないような気がします。

今年こそは門松や床飾りの造花には脇枝をそれぞれ工夫して飾りたいものです。

止廃禮虚

断ち切ろう　冗費ご因習

健全財政策に御協力を

毎年のことながら、今年こそと気持の上ではそう思うが、なかなか改められないで困つているのではないでしようか。

現在が国が履かれている立場は国民一人一人が消費節約して自立経済達成のため、きびしい努力をしなければならないときです。

今年こそは気でこの改善運動と取組んでみようではありませんか特に今年はデフレ下に風水害、労働攻勢等不安な世相にあるとき、義理や見栄にせめられてする、お歳暮や見せたい一心のお正月の晴着、食べきれない沢山の御馳走、御馳走の無駄強い、それに深酒、これ等は難れもが改めたいと思つていて、うかうか改善できないでいるのではないでしようか、お正月料理も色や形のはでやかさがよりこびれるようになり、苦しい家計にゆがめられた伝統は今年こそ思い切つて打切りたいものです。

新しい年と共にこれ等の因習を脱ぎ捨てて建全な家庭財政は、とりも直さず国の財政につながる明るい家庭となることです。

本気に改善につとめましょう、今年こそは一

当の生活、現在の「社会と共に進む　婦人につながる生き方におくれないで進みましょう。

そして母としては子供の成長と共に自分も成長しよう、すべてが本

狩猟者の方へ

お願い

この鹿防府経済出張所から「標識鳥」が全国に放されて、農林省林野庁でこの鳥がどの方向に飛んでいるかを調査しています、この調査研究に一般にも協力方を要望していますので、若し鳥類を捕獲された方はよく調べてみましょう。

特徴な標識をつけた鳥を捕へた方は早く役場林野係まで御通知して下さい。捕獲された方には農林省から記念品を寄与することになつておりますから、この調査研究は一年間通じてなされていますから御協力方を切望しています。

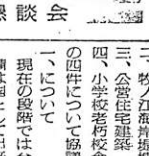
なおくわしいことは町役場林野係まで御足労して下さい。

人事発令

十月三十一日附
依願退職（経済課原蚕係）
藤沢アヤ子

十一月一日附
阿知須町事務吏員　浜野　俊男
社会課衛生係勤務を命ず
阿知須町　雇員　村重　貞男
経済課蚕業係勤務を命ず
阿知須町　雇員　山田　潤雄
税務課税務係勤務を命ず
阿知須町　雇員　藤田喜久代
税務課税務係勤務を命ず
十一月十八日附（総務課庶務係長）
阿知須町　事務吏員　古谷　博
経済課林務係長を命ず
阿知須町　事務吏員　土本　源一
総務課庶務係長を命ず

贈答用タバコの御買求めはぜひ本町内のタバコ販売店で…吹かす煙が年間百万円の町の財源となります。



▼狭い国土と乏しい資源の中に、九千万人もの人間が、ひしめき合つて暮せば　一方食うや食わず、溺るゝや救れずの同胞があるのはやむを得ないことであろう。▼それ故に進んだ道は悲しい道であつた。私達は戦争と言う大きな誤りを犯し、貧困日本の苦悩は旧倍したのである▼終戦後来る年も来る年も、扶け合い運動をやらなければならないと言うことは、人間世界として、そもそも恥しい、ということが根本でありたいものである。▼人間が扶け合うことは誠に美しい、この精神は勿論大切なことで、真実人間が、その精神を平素活用していたら、なにも年末に、さわぎして眠のさめたようにしなくても、どうにか餅も拠かれも袋の一足も買えようものそうでなくてはならない。▼人情のある人間界とは言えないではないかと思う。つまり三百六十五日の中三百三十五日は人情が流れていない証拠みたいなものように考えられるのである。▼運動の対象となる人々にでもヒロポンだパチンコ位何んだのに、うつゝをぬかして生活を濁し、他人を泣かせたのがもとで、おのれがドン底に落ち込んだとか、或は他人の情けにすがりつく根性から、やらずぶんだくり、こんな人間に扶け合いもないものである▼気まゝ気ずいで暮せながら、たすけ合いには一向関心を持たず、そつぽを向く人間も同様社会のバチルス、と呼びたくなるのである▼損つた金品の配分が、とぼしい人達を夢らかせも温めるかと思えば、有難いことであるが紙一重かの生活者にもれんどう左眼を、方法を講じるべきではないかと思う。

▼生活扶助や医療の扶助という、形式に囚われをおきすぎ、紙一重にある貧困以上に苦しい人のあることを見のがしてはならないのである。▼この人達には働く意慾が充分にあり動労をつゞけながら、それでつゝましい生活から抜けきらない紙一重にある、悲壮な人達のあることを見のがしてはならない。▼私は少し理想すぎることを近ようであるが、理想は空想ではない可能だと…吉可能を寄びたいと思うのである。

英霊の在りし日をしのび 涙もあらた慰霊祭執行

本年で第四回目の日華事変後の戦没者「二七〇柱」の慰霊祭は、昭和三十年十一月廿四日、本龍寺で仏式によつてしめやかに営まれた。この日御霊二七〇柱が祭壇に祀られ、本堂には来賓、遺族並に遺児代表、一般約三百名の参列者でうずめられ、中尾町長の挨拶に引つづき魂をゆすぶるような、鳴鐘動絲もすみ焼香の儀に移り、まず中尾町長の追悼の辞は肩ならぶ人に在りし日の英霊の俤を偲ぜ、今はなき御霊に対する深い感慨と新らたな涙をさそつたのである。

さらに遺児代表河崎繁樹君の追悼文朗読に至つては、さすが鬼神も泣く哀悼の言葉に、参列者の胸を絞めつけ、押えきれない涙は一時に堰を切つて満堂感涙の坩堝と化し、むせび泣く声はしばしやまず宮野山に県知事代理・竹本本町議会議長の追悼の辞につづき、一般参列者の焼香も鳴咽の中に滞りなくすみ、中川遺族会長は遺族代表として、本日この感激に胸迫り、哀愁する心を押えながら、町当局に対する満腔の謝意を表明し、年と共に好転してゆく恩給法や社会保障制度に、明るい希望を持ち、更に今後共一段と一致団結困苦に耐え生きぬく覚悟であると力強い決意の程を述べ十二時すぎ厳かな慰霊祭を終了した。会を閉じ、盛大裡に和やかな雰囲気の中に午後四時幕をとじた。【鬼神も泣く遺児代表の追悼の辞】

写真は武道大会（剣道）

自作農維持創設資金について

農業経営の安定を図ることを目的として自作農維持創設資金融通法が公布されました。

この法律は、農業経営の安定を確立するために農地や、採草放牧地の面積を増加する必要のあるものが自作地の購入をするとき、或は小作地を購入する場合、相続等のため農地などの細分化の防止、病気負傷、災害とその他やむを得ない理由によつて、自作地等を売らなければ外に方法のないような窮地に立つた農業者に対して長期間に亘り、低利で融資されることになつております。

その第一回目は各村が締切られましたが、第二回の貸出については来年一月頃の予定で、これと振当てられる本年度の予算は僅かでありますが、御希望の方は町農業委員会事務局まで御申出下さい。

詳細は当係りで御説明いたします。

農業委員選挙人名簿調製

12月5日までに申請

今年も農業委員会委員の選挙人名簿の調製の期日がきました。この選挙人の申請資格は　本年二月十一日現在で満二十才になられた人で、一反以上耕作しおおむね六十日以上耕作に従事している人となつて居ります。申請は農業委員会を経由して選挙管理委員会へ提出するのですから、該当される人は公職選挙法によつて申請しなければなりません、期日お忘れなく申請して下さい。

記

一、提出先　阿知須町役場内阿知須町農業委員会事務局

一、申請期日　昭和三十年十二月五日限り

寒空に温い人情

恵まれない人にお雑煮を

師走のカラツ風がひしひしと迫つて、寒さと飢に年の瀬を間近に、暗たんとして明日をの生活の約束できず、不安に煩悩する人の多くなつてゆく現今、私達は人とのようには考えられなくなりましたさなきだに今年は風水害のために

米！米！米！の大攻勢

今年の農作が台風のために気づかわれていたが、全般的に大事なく強運発動で豊農をふるえ上らせたのも、今は昔の物語り、好調を続ける予約米売渡しに、誰も彼も面に明るい喜色が見うけられる【写真はえんえんとつづく新米売込の列】

燃えない工夫、焼けない注意

焼けて泣くより笑顔で防火

「斑人は一かるい火事みんな灰になる」昔から言つていることで雖れも知つてはいるが、とかく忘れ勝ちで、火災の原因は九九%までが不仕末と不注意によるもので自分の財産は勿論のこと、近所隣の尊い財産にでも灰にすることを思つたら、注意した上にも注意を怠らないようしましよう。

各部落には十一月十八日附で火災予防のしおりを回覧しておきましたからよく読んで日常充分な注意を致しましよう。

（写真は稲中地区の防火訓練）

毛絲刺繍講習会開催

◇新会員募集◇

講習期間　自十二月八日　至十二月十日　三日間

申込先　公民館

申込期限　十二月五日限

会費　無料

講師　聯米指導員

農協資金の活用について

農業信用協会と信用農業協同組合連合会（信連）とが、契約や協賛して融資を受けたい人の信用力を補強して農業生産力を拡大増加しようとする、営農や設備資金を五ケ年以内で融資する制度があります。

希望者は詳しいことは農協、役場農業係にお尋ねになつて、農業経営上の為御利用方をお奨めします。

1956年 新年互礼会

申込みは12月15日まで

意義ある新春を祝福し、併せて全町民の健康を祈念し合い、更に地方自治確立の念願を、より一層新たにする。恒例の町民互礼会を開催致しますので、多数御参加方をお願い致します。

年と共に参加申込みが増加しつゝあり町当局でも大変よろこんでいます、今年は種々準備の都合上、切日をゆし繰上げましたからあしからず御了承下さい。

記

一、日時　昭和三十一年一月一日　午前十時（時間厳守）

一、場所　阿知須中学校

一、会費　一人百五十円（申込みと同時）

一、申込期日　十二月十五日まで

一、申込み先　部落自治委員又は役場庶務係まで

名簿作製の為住所、氏名、期限を明確、厳守して下さい。

歳末扶け合い運動

救いの手を待つ気の毒な人が多くなつています。

寒空に火の気のないアバラ家に、若の身を横たえる老人世帯・愛し子のただ一枚の晴着も買つてやれない母子世帯・毎日の食事にもことと欠き、登校さえ出来ない欠食家庭こうした恵まれない不幸な人々にせめて雑煮でもと愛の手をさしのべ、お互同胞が助け合いの真心で幸せは分けあつてさゝやかなりとも愛の贈物をして、そうした人達をはげまし扶け合つて、共に希望ある新年を迎えようと、本町でもこれ等の気の毒な人達に温い愛の真心を捧げたいものと、婦人会の応援で〝せめて温いお雑煮でも〟と人並のお正月のできない人々に美しい、愛の運動がはじまります。

この扶け合い運動は単に拠出された金品の多寡によるのではなく、皆さまが「思いやり」「共助」の精神をたかめ、物心両面よりする援助で共に年の瀬を越したいものと思います。

どうかこの扶け合いの意のあるところを御認識下さいまして、積極的な御参加方をお願い致します。

『青空納税者』表彰

山口税務署では申告所得税に対する鹿実な申告・納期限内の完納を実行した管内「青空納税者」にこの顕彰を行つたが、本町関係の表彰者は次のとおりであつた。

（飛石）伊藤唯一（岡）戎谷寅蔵（井関）小野久一（引野）小林音一（枝川）桜井武一（目出松）藤井シズ（枝川）福田優一（井関）福本春助（井関）福島栄治（浜表）松崎周次（目出）増野国一（北祝）村藤志一（飛石）矢田　康（岩上）師井イト

不連続線 ⑥

▽現代の花形病！その名はノイローゼである、知つてから知らずかはよくわからないが、〝僕はノイローゼになつてねエ〟なんていう会話をよく耳にする。

▽どこの職場に行つてみても案外このノイローゼ患者が多いのではないかと思う、什事の不公平　責任のなすり合い、人情味のない職場、無智な叱事が積り積つて、劣等感、自信の喪失、……となつて作業能の低下、失策、その他が表われてくる　そして神経衰弱になる。

▽管理者は、表情、行動、音声を常に気をつけていると思う。対人関係から発する神経症はこの人間関係のもつれをなくすることも一つでしよう、職場の配置転換さらに家庭関係にもあることも考えられる。

▽若しこのような人があつたら、できるだけ精神的負担を軽くして周囲の人は温い目をもつて見てやることだと思う。

▽業は一つかず離れず、当人に心理的な緊張を起さないよう応待をすることが大切である。

▽部落は、一つかず離れず、当人に心理的な緊張を起さないよう応待をすることが大切である。

優勝　阿知須A軍に下る

近郷青年軟式野球大会

阿知須町体育協会主催第六回近郷青年軟式野球大会は、十一月二十日午前九時から阿中グランドで、参加国体九チームはA・B球場に分れて熱戦の幕はひらかれた。

この日秋晴れの絶好な野球日和に恵まれ、各チーム共最初から白熱した競戦が繰展げられ、優勝戦に進んでは観衆熱狂のうちに阿知須A軍対好敵嘉川の決戦となり、手に汗を握る接戦ゲームを展開、遂に老練阿知須A軍に制覇の凱歌があがつたのである。

（河内）片山浩太郎（岩上）田辺友祐（浜表）中村伸一

県税完納運動強調月間

一、事業税第一期分

◎納期十一月三十日までですが未納の方は早く納付して下さい

二、遊興飲食税

十一月一日より公給領収証制度実施

◎遊興飲食の料金を支払つた際は必ず公給領収証を受取つて下さい

山口県税事務所

嘉川	0000000000
阿A	0100000000

◆編集室より◆

〝平和基盤に立脚して即決即行主義で〟と中尾町長の就任挨拶もついさつきのような気がします、早くも一ケ年を過して歳の市のあわただしさを眺めることになりました。この一年のすぎ越方を見返れば、人それぞれの思い出がなされることでありましよう。

あのことも、このことも果すべくして果し得なかつたことも思い出されて　何んとしても心に残ることであります。

新春は申歳に関み希望に踊り期待に胸をふくませながら。大過なき昭和三十年を皆様と共に静かに見送ることができ、幸よき新春をお迎えあらんことを祈ります。

新年号（五十一号）は元旦に御手元に届くよう努力します。

◇婚姻の部

妻夫	池田　通明	砂嘉	二川
妻夫	池田田鶴子	小野田市	
妻夫	錦谷　幸子	西条	
妻夫	石谷　行雄	西条	
妻夫	宮本　栄一	西条	
妻夫	田中ミヨ子	嘉川	
妻夫	長嶺　正	西条	
妻夫	金城　貞子		
妻夫	細中トキコ	小野田市	
妻夫	細中　静雄	小野田市	
妻夫	永久　昭二	山口市	
妻夫	櫛中　正子	西条	

出生の部

父	綱柄	出生児	部落
長女	麥子	岩西前	部落
二女	由紀子	西条	
長男	敏明	東	
長男	博明	仙在	
二女	百合子	西条	
二女	由喜子	北祝	
長男	正典	杖川	
長男	聡	野口	
長男	茂	向井	関
長男	孝雄	砂三	

死亡の部

死亡者	死亡月日	年令	部落
片岡　敏	11月2日	2	河内
磯部ハツノ	11月3日	70	浜
福田真澄	11月5日		井関
円中ミネ	11月9日	68	岩辻
中村梅五郎	11月20日	67	浜
社野ユキ	11月24日		浜表
勝岡ヒサ	11月25日	69	浜表
松崎信吉	11月27日	70	浜表